

「再エネ等由来の電力を活用した水電解による水素製造」プロジェクトに関する意見

令和6年9月19日

産業構造審議会グリーンイノベーションプロジェクト部会

エネルギー構造転換分野ワーキンググループ

令和5年8月23日のワーキンググループで実施した議論を踏まえ、プロジェクト担当課室、NEDO、各実施企業等におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

1. プロジェクト全体

(共通)

- 関係団体や企業等と協力し、標準化に向けた国際的な議論への対応を強化すべき。
- 海外のマーケットが拡大しつつあり、欧米に加え中国等の水電解装置メーカーが安価な製品を市場投入してくることが予測される状況において、海外の市場や競合の動向を把握するため一層調査を充実させつつ、ステークホルダーとの関係を強化し、動向を踏まえて適切に計画の見直しを検討する必要がある。
- 国内の市場環境整備に向けた政策措置の更なる充実を検討する必要がある。
- 官民で本事業の取組や進捗状況等の情報発信を強化する必要がある。
- 部素材だけでなく水電解システム全体で海外プロジェクトに参入するために官民で方策を検討する必要がある。

2. 各実施企業等

(共通)

- 水電解装置及び部素材の国際競争が本プロジェクト開始時よりもさらに激化しており、日本の国際競争力として研究開発だけではなく、生産技術の向上や生産量の拡大等も重要である。国際的な競争と協業を念頭に、スピードとスケールを意識して、機動的な計画の見直しや外部連携を含むリソースの重点投入などを検討すべき。
- 将来的な資金調達を見据えた投資家向けの情報開示等のあり方を積極的に検討する必要がある。

① 産業技術総合研究所

- 海外の同様なサービスを提供する評価機関との比較を示すことが重要である。
- 基金事業終了後の評価施設の運営計画を明確にすることが重要である。
- プロジェクト内外の事業者や関係者との連携を一層深めて関連技術の国際的なルー

ルメイキングへの取組を強化すべき。

- 本分野の若手・中堅人材の採用・育成について組織全体で取り組む必要がある。

② 旭化成株式会社

- 社会実装のターゲットとなる国・地域での実績を早期に積み上げることが重要。そのためプロジェクトおよび社会実装の加速を検討すべき。
- 早期に実績を積み上げるため、資金調達を見据えて投資家を含むステークホルダーへの情報開示等のあり方を積極的に検討いただくとともに、本プロジェクトへ人材やその他経営資源を重点的に割り当てる必要がある。
- 欧米に加え、中国等の水電解装置メーカーが安価で大型の製品を市場投入してくることが予測される状況において、自社の競争優位性を開示し、海外マーケットへの営業活動の一層の強化に努める必要がある。

③ 山梨県企業局

- 欧米に加え、中国等の水電解装置メーカーが安価で大型な製品を市場投入してくることが予測される状況において、関係企業と協力して海外マーケットへの営業活動の一層の強化に努める必要がある。
- 社会実装に向けた体制を強化するため、「やまなしハイドロジェンカンパニー」の共同出資者との間で将来の成長に向けた体制構築の方向性を明確にすることが重要。

④ 東レ株式会社

- マーケットシェアを獲得する水電解装置メーカーの動向を見極めつつ、素材の価値向上によって当該素材を使用した水電解装置メーカーをトップメーカーに押し上げるように、協業の一層の充実が重要である。

以上